

[XAMPP版] 監視モニター

機能追加

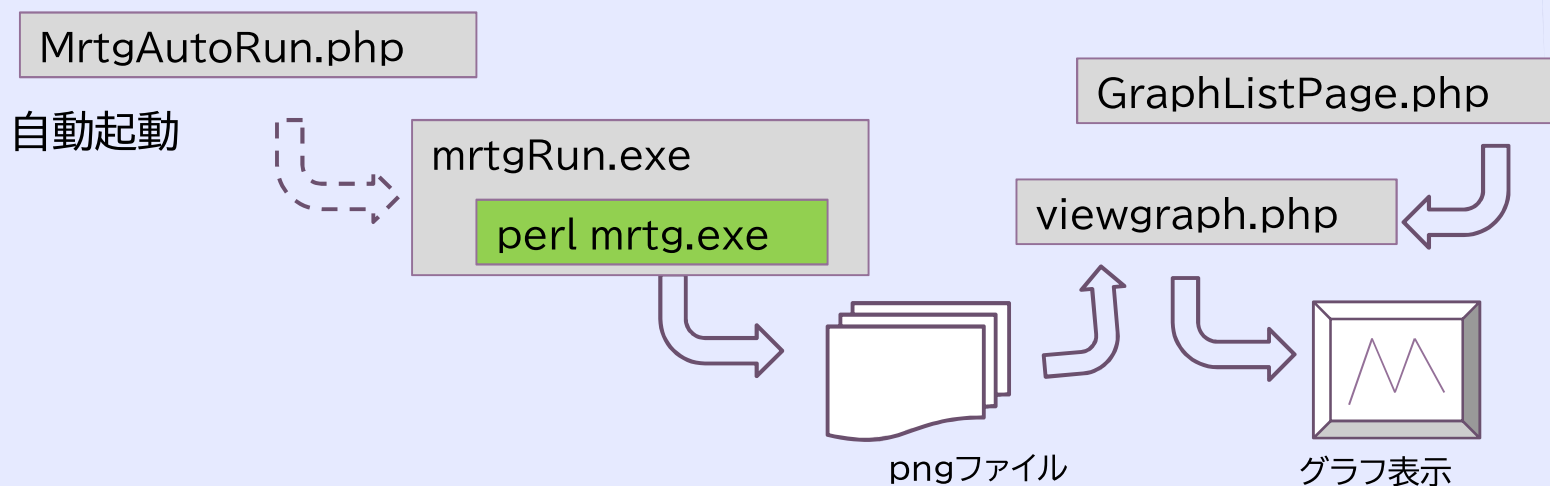
リソースグラフ機能
プロットグラフ機能

リソースグラフ機能

1 概要

○ リソースグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php	自動起動でmrtgRun.exeを呼び出す
mrtgRun.exe	perl mrtgでSNMPエージェントのCPU, RAM, DISKのデータを取得する
GraphListPage.php	随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する
viewgraph.php	選択されたエージェントホストのグラフを表示する



○ データ取得プログラム

CPU負荷率	snmpcpuget.exe
メモリ使用率	snmpramget.exe
ディスク使用率	snmpdiskget.exe

リソースグラフ機能

2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加
vpath_mrtgbase=<vpath_mrtghome>注
注:vpath_mrtghomeは、newmrtg.cfgが存在するディレクトリ
監視アプリではmrtg.cfgをnewmrtg.cfgとして使用
vpath_mrtg=mrtg.exeのパス

3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する
リフレッシュ間隔はモニターインターバル
参考:perl mrtgをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

4. グラフ表示

- メニュー「リソースグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

リソースグラフ機能

5 グラフ操作

5.1 グラフを作成登録する

- メニュー「リソースグラフ」選択、グラフ未登録のホストを選択、「グラフ登録」をクリック

図 5.1.1 グラフ登録

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ**
- プロットグラフ

設定メニュー

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ未登録
<input type="radio"/> 192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ未登録

グラフ表示メール添付 **グラフ登録** グラフ削除

- MRTGグラフデータの収集間隔は、メニュー「管理情報」の監視間隔(秒)で変更可能

図 5.1.2 起動間隔

監視ホスト追加

- 監視ホスト修正
- 管理情報**
- ヘッダ情報
- サーバー画像管理

監視間隔 SNMP間隔

120 30

送信先

mailuser@mydomain.jp

リソースグラフ機能

5.2 グラフを表示、メール添付する

- メニュー「リソースグラフ」選択、表示/メール添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

図 5.2.1 グラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果**
- リソースグラフ
- プロットグラフ

設定メニュー

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

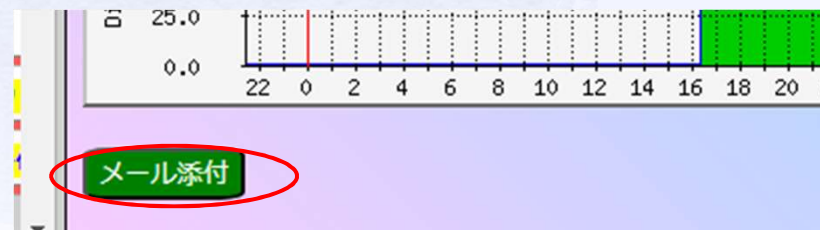
ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ未登録
<input type="radio"/> 192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ未登録

グラフ表示/メール添付 **グラフ登録** **グラフ削除**

図 5.2.2 MRTGグラフ



図 5.2.3 MRTGグラフメール送信



- メールに画像を添付して送信する
但し、ホスト情報のメールが「自動送信」であること

プロットグラフ機能

1. 概要

○ プロットグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php

plotgraph.exe

GraphListPlotPage.php

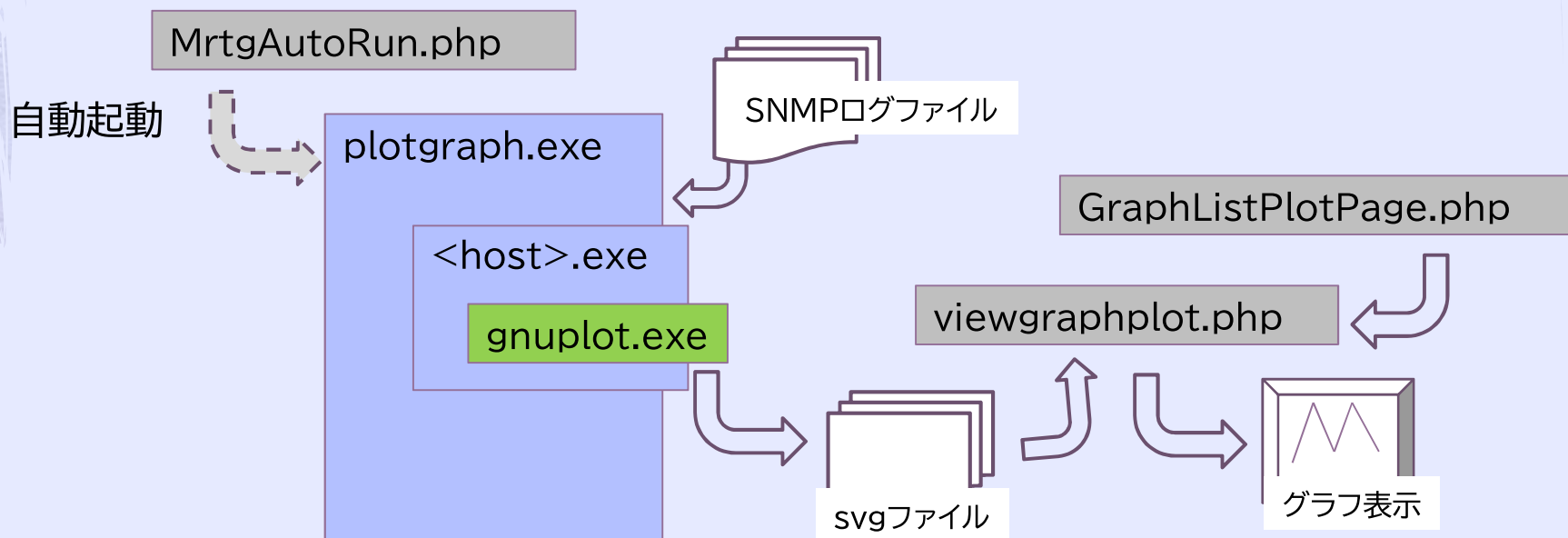
viewgraphplot.php

自動でplotgraph.exeを呼び出す

SNMPログからCPU,RAM,DISKのデータを取得する

随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する

選択されたエージェントホストのグラフを表示する



プロットグラフ機能

2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加
vpath_gnuplot=gnuplot.exeのパス

3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する
リフレッシュ間隔はモニターインターバル
参考:plotgraph.exeをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

4. グラフ表示

- メニュー「プロットグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

プロットグラフ機能

5. グラフ操作

5.1 グラフを表示、メール添付する

○ メニュー「プロットグラフ」選択、表示／添付するホストを選択、「グラフ表示／メール添付」をクリック

図 5.1.1 プロットグラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ
- プロットグラフ**

設定メニュー

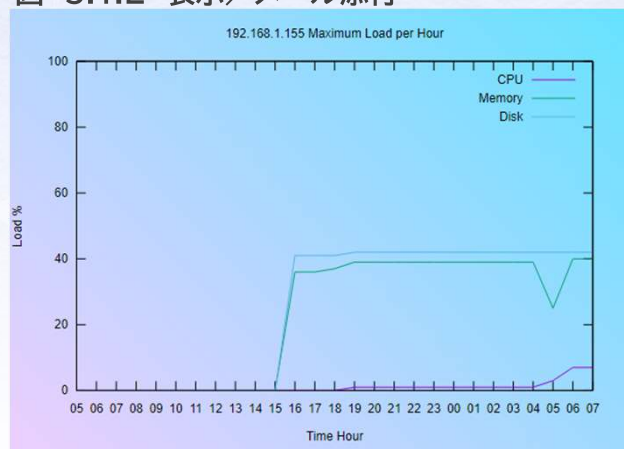
php ▼ プロットグラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示／メール添付」をクリックする
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要

	ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/>	192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ作成中
<input type="radio"/>	192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ作成中

グラフ表示/メール添付

図 5.1.2 表示／メール添付



○ メール添付する場合は、「メール添付」をクリック